

2020年12月14日

各位

株式会社 紀陽銀行

「第2回みんなで考えるわかやまのMIRAI＜オンライン＞」の実施について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、財務省近畿財務局和歌山財務事務所および西日本電信電話株式会社、きのくに信用金庫、和歌山市SDGs推進ネットワーク事務局と共催で「第2回みんなで考えるわかやまのMIRAI＜オンライン＞」を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は2019年3月に「紀陽銀行 SDGs宣言」を表明し、行内外へのSDGsの浸透に取り組んでいます。今回は、和歌山市SDGs推進ネットワークに加入している企業・団体の職員などがオンライン形式で「SDGs アウトサイドインカードゲーム」に取り組み、地方創生や和歌山の未来について意見交換をおこないました。

紀陽銀行は、SDGs達成に向けた取り組みを今後さらに加速させ、地域社会とともに持続的に成長していくことをめざします。

記

1. 実施概要

日 時	2020年12月12日（土）13:00～17:00
会 場	オンライン ※事務局を和歌山地方合同庁舎 5階 第2共用会議室に設置。
参 加 者	和歌山市SDGs推進ネットワーク※加入企業・団体職員 18名
内 容	ファシリテーターによる「SDGs アウトサイドインカードゲーム」の実施および意見交換会

※和歌山市SDGs推進ネットワーク

…2019年7月に「SDGs未来都市」に選定された和歌山市、財務省近畿財務局和歌山財務事務所、きのくに信用金庫とともに、地元地域におけるSDGs達成に向けた取組推進を図るため、2020年1月に設立。

2. ゲーム中の様子



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



【ご参考】「SDGs アウトサイドインカードゲーム」とは

「“企業が直面している課題”をSDGsの視点を活用しながらどう解決していくか」、「“世界が直面している課題”に企業がどのように寄与できるか」を学ぶことができるカードゲームです。本ゲームを体験することで、以下の3つの目的を達成することができます。

1. すべての事業者を訪れる新しい事業機会（アウトサイドイン）に関して学ぶ
2. 世界が直面している課題に、企業（自社）がどのように貢献できるのか知る
3. 自社が保有しているピースを知り、統合して新たな事業を生み出すきっかけを掴む